

第5回まち・ひと・しごと創生推進会議議事録

<p>事務局 (道下)</p>	<p>●開 会</p> <p>おはようございます。</p> <p>ご案内いたしました時間がまいりましたので、只今から第5回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を開会させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、公私共にご多忙のところ、本会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>進行を務めさせていただきます、政策推進室の道下と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>昨年10月29日に策定いたしました、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成27年度事業の効果検証作業、並びに、平成28年度事業の進捗状況の報告ということが、会議の内容となります。十分なるご審議、ご提言など賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、柎屋村長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>村長</p>	<p>●村長挨拶</p> <p>皆さま、おはようございます。新たに4月以降にご就任をいただきました委員さんをはじめとする、まち・ひと・しごと創生推進会議の委員の皆様にはご多用の中、第5回の会議にご出席を賜りまして大変にありがとうございます。</p> <p>また、皆様には、本村の地方創生関係事業の推進はもとより震災復興の総仕上げ、あるいは台風10号の復旧などにご支援をいただいております。この場をお借りし改めての感謝もさせていただきます。</p> <p>ご案内のとおりでございますし、また、先ほど道下室長よりお話もあったように、昨年来、本村でも村の総合戦略、本格的に実施という中にございますが、実際に着手をしてみますと見直すべき点も、あるいは、追加をして新たにやらなければならない点なども当然に出てきておる状況でございます。</p> <p>本日は、27年度の地方創生関係の交付金事業の実績、あるいは、掲げました目標の達成度、現在進めております28年度事業の進捗状況について皆様に報告をいたしながら、一層に効果、実績が上がるものにしていくため、ご意見、ご提言をいただき、今年度残っております後半の部分、あるいは、新年度予算等にその施策を反映をさせてまいりたいということでこの会議を開催をさせていただきました。是非皆様には忌憚のないご意見をたくさんいただきますようお願いを申し上げます、大変簡単ではございますが開会にあたりましてのお願いのごあいさつに替えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 (道下)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、村長は他の公務がございますので、退席をさせていただきます。</p> <p>次に、本日配布しております資料について確認をさせていただきます。</p> <p>資料1、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿。</p>

	<p>資料2、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱。</p> <p>資料3、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成27年度事業実績。また、別冊の点検シート。</p> <p>資料4、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプランの進捗状況。</p> <p>資料5、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標の進捗状況。</p> <p>以上の資料でございます。順次、議事進行の中で使わせていただきますが、不足等ございませんでしょうか。</p> <p>次に本日欠席報告をいただいている委員の方々をご報告いたします。</p> <p>3番の長根委員様、9番の植田委員様、10番の下山委員様、12番の小守委員様、18番の三田地委員様、18番の畠山委員様、22番の荒木委員様</p> <p>以上の方々が欠席ということでご報告をいただいております。</p> <p>それでは早速議事の方に入らせていただきたいと思います。</p> <p>設置要綱第6条の規定に基づきまして、ここからは、佐々木会長が、議長として進行をいたします。</p> <p>佐々木会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>●協議事項</p> <p>改めましておはようございます。佐々木でございます。これより、議長として、本日の議事、進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、早速、協議事項に入ります。</p> <p>協議事項の(1)普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成27年度事業の効果検証について、事務局の説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>政策推進室の中村と申します。本日はご多忙のところご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、協議事項、(1)の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成27年度事業の効果検証について、資料3と別冊を使用し、説明させていただきます。</p> <p>はじめに、資料3の事業実績総括表を説明させていただき、その後に個別事業について、別冊の点検シートを用い、取組状況や内部評価を説明させていただきます。各委員の皆さまから、個別事業ごとの検証・外部評価をいただき、今後の取り組み方針を定めてまいりますので、活発なご意見、ご議論を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>〔概要説明〕</p> <p>それではお手元の資料3をご覧ください。こちらは事業概要ということで、簡単に説明させていただきます。</p>

27 年度事業ということで地方創生先行型交付金を活用した事業、9 事業を実施。

基本目標 1 の地域における安定した雇用を創出するには、3 事業を実施した。まず、施策 3 つくり育てる産業の推進では「ふだいの魅力アップ事業」を実施。事業費 3,421 千円、青の国ふだいのブランドイメージの定着に向け商品開発等々を実施し、KPI は 100% ということで達成。施策 4 労働人口の確保では 2 事業を実施。一つ目は「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」を実施。事業費 1,500 千円、普代漁協の新卒者 1 名、普代福社会の新卒者 2 名分の雇用奨励金を支給。KPI は新卒者雇用人数の目標を上回る、移住者 1 名の目標達成には至らなかった。二つ目は「普代村新規漁業者支援協議会補助金事業」を実施。事業費 100 千円、協議会組織の立上げに対する補助金を交付、KPI は新規漁業者相談件数で 5 人の目標に対し 3 人という状況となった。

基本目標 2 の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるには 1 事業を実施。施策 4 の子どもの夢・希望と新たな生活環境の創造では「はまゆりこども園給食費支援事業」を実施、事業費 3,188 千円、はまゆりこども園給食費負担相当額を地域商品券により延べ 864 人に支援、KPI は子育て世帯転入数 1 世帯として目標を達成。

基本目標 4 の地域への新しい人の流れをつくるには 5 事業を実施。施策 2 の移住定住者の多様なニーズへの対応では「学官連携で推進するおためし U 愛 J ターン」支援事業を実施、事業費 10,456 千円、追手門学院大学と連携して移住定住施策の検討と自然体験学習施設のおためし移住体験施設化整備を実施、KPI はおためし移住体験者数 10 人に対し 27 人で達成。施策 3 の輝く地域資源の創造で 3 事業を実施。一つ目は「青の国ふだいファン会員登録制度事業」を実施、事業費 1,975 千円、会員登録制度を構築し普代ファン会員の集客・登録、会員へのファンクラブ通信発送を行った。KPI は会員登録者数 100 人に対し 38 人と目標達成には至っていない。二つ目は「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」を実施、事業費 1,963 千円、観光客向けとして観光シーズンの 5 月～10 月の日曜・終日全 34 日の無料バスの試験運行を実施。KPI は観光客バス者数 1,020 人に対し 266 人と目標達成には至っていない。三つ目は「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」を実施、事業費 4,943 千円、運行事業の検証結果を踏まえ新たな周遊観光バスを導入しバスのラッピング、車載テレビの登載やバス停留所のリニューアル、観光地の多言語化案内看板を整備、KPI は観光入込客数 63,294 人に対し 65,801 人と目標を達成。施策 4 の誘客拡大に向けた観光力強化では「宿泊施設 WiFi 環境構築事業」を実施、事業費 4,882 千円、国民宿舎くろさき荘への WiFi 設備を構築、KPI は宿泊者数 11,762 人に対し 8,822 人と目標達成には至っていない。

以上が 9 事業の事業実績概要となります。

[内部評価の詳細説明]

	<p>次に、別冊の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況点検シート〔平成 27 年度の取り組み（地方創生先行型事業）〕をご覧願います。こちらでは、1 事業ごとの詳細について、内部での取り組みの検証及び内部評価結果を説明させていただきます、1 事業ごとに外部評価として委員さん方からご意見を賜りたいと存じますのでよろしく願いいたします。</p> <p>1 つ目、「ふだいの産業魅力アップ事業」でございます。本事業は、商品開発等々を進め、青の国ふだいのブランドイメージを定着していくことを目的として官民一体となって取り組んだものでございます。地域資源を活用した加工品及びご当地グルメ開発、商品開発相談会開催、地域資源を活用した PR イベント開催、昆布を使った簡単レシピ開発、昆布を使った料理教室の開催を事業内容とし KPI は商品化数 3 件、新規取引件数 5 件と目標値を達成したところであります。取り組みの検証・内部評価ですが、KPI 達成状況に関する分析結果ですが、商品開発に係る助成事業の活用や新商品等の販売戦略、既存商品の改良など、商品開発相談会に対する事業者ニーズは高い状況となっていること。27 年度には、6 回の相談会が行われ、延べ 7 社が参加し、2 社 3 件の商品化につながっていること。また、普代フェアの開催により、盛岡市内の飲食店や産直施設などへの販路も広がり、新規取り扱い件数も目標の 5 件を達成しているという分析内容でございます。取り組みの課題ですが、①既存商品のフォローアップの強化、②普代フェアで提供されているメニューの通年商品化、③ふだいおでんの地域内メニュー化及び販売戦略と考えております。内部評価結果では、「要改善」が必要であると評価させていただいたところであります。今後の取り組みとしましては、①これまでに開発された商品の販売状況を追跡調査し、販売拡大に向けた商品の改良や販路の開拓など、フォローアップの強化が必要である。②普代フェアで提供されているメニューや特産品の昆布を活用した新たな商品「こんぶおでん」が地域内のメニュー（商品）として提供できるような取り組みが必要であると考えております。</p> <p>以上が「ふだいの産業魅力アップ事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>まず、はじめに、「ふだいの産業魅力アップ事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ここで、推進会議では、事業の効果検証、評価をしていくわけですが、はじめに、ただいまの事務局からの説明について、各委員の皆さまからご質問・ご意見等をいただき、KPI に対する事業の効果と内部評価に対する評価を判断してまいりたいと思います。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>〔補足説明〕</p>

(道下)	<p>申し訳ございません、効果検証の進め方について、説明が不足しておりましたので補足させていただきます。本資料は「4. 取り組みの検証／外部評価 (Check 2)」というところで、こちらが推進会議で審議という判断をすることになっております。ただいま、事務局より説明がありました内容等で皆様からご質問をいただき、あるいは皆様からご提言をいただいた後で KPI の達成状況で行った事業が適正であったかなどをご判断をいただきたいというもの。もう一つは、「3. 取り組みの検証／内部評価 (Check 1)」というところで内部評価をしておりますので、この内部評価が適正であったかについてご判断をいただきながら、ご意見いただいた内容を踏まえ「5. 取り組みの改善 (Action)」をしてまいります。なお、取り組みの改善をしたものにつきましては、後日、改めて委員の皆様にお示しをするという進め方でございますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいま、事務局より改めて評価に関する説明がありました。私にも非常に難しいものですから進め方を迷っておりますけども皆様からのご協力をいただき進めてまいります。</p> <p>「ふだいの産業魅力アップ事業」について、説明していただいた内容にご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>はい、三船委員さん。</p>
三船委員	<p>取り組みの課題のところでは普代フェアで提供されているメニューの通年商品化という課題があるわけですが、平成 28 年度も事業実施し店舗件数も増えている状況で、これまで、普代の食材を使って通年の商品化をしている店舗も何件かあるのでしょうか。</p>
事務局 (室長)	<p>通年において、原材料供給ができる食材、主にすき昆布等につきましては通年の商品化になっているものもあるかと思えます。その件数につきましては、手持ちの資料で把握しておりませんので、改めてその辺も資料を集めまして、「5. 取り組みの改善 (Action)」の項目でお示しをさせていただければと思っております。本年度、普代フェアでは盛岡市内に飲食店 18 店舗ありまして、事務局の方でもメニューとして通年提供できるよう取り組んでおりますし、さらにそちらの方も充実強化をしてまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>その他、ございませんでしょうか。</p> <p>はい、橋本委員さん。</p>
橋本委員	<p>僕は、普段遠くから拝見させていただいておりますが、フェイスブックとかインターネットを見ている、この部分を見ていて率直に言うと普代村に目覚ましい動きがあったのではないかなと外部委員の評価ですので私は率直にそう思います。普代村突然どうしたの？と思うくらい盛岡の方でも普代村の名前をあちこちで見えるようになったし知人からも聞きます。この部分は遠くから見ていると目覚ましい成果を上げておられるのかなと思いましたが、追手門学院大学学園祭に先立て道下室長もこんぶ鯉鮓のお振舞な</p>

	<p>ど室長自らやってくださって、私もお手伝いをさせていただいて、非常に評判も良く、こんぶ饅頭はあっという間に無くなり、普代村のお店のお菓子等も売れておりました。これだけではないと思いますが非常にいろんな動きがあっという間だと思っております。室長ともお話しはしましたが、新しい商品をつくるというところは多いと思っておりますが、特定のお店の名前を出してはいけないかとは思いますが、私は個人的に上神田精肉店さんのお肉とかすごいなと思っているのですが、追手門学院大学に来るときでもホルモンとか焼肉とか非常に集客力はあると思っております。新しいおでんの開発とかもおもしろいと思っておりますが、もともとある企業さんなどで取り扱っている物なども告知していくということなども同時に促進していくことも必要だと思っております。めんこいテレビさんと連携した番組制作を行っておられますけども、ソーシャルメディアなども使って多様に取り組んでいけばいいのではないかと思います。大局的には非常に良くやっておられるんじゃないかなと思えました。</p>
事務局 (室長)	<p>今年の10月から岩手めんこいテレビさんと連携しまして、役場内に岩手めんこいテレビ普代局が開局になっております。ちょっとPRをさせていただきますが、毎週土曜日午後5時25分から2分30秒の短い番組ではございますが是非ご覧いただきたいと思っております。また、現在、普代フェアも11月27日(日)まで開催されており盛況で賑わっているというようなことでございます。村内の事業者さんも毎日ではございませんがPRをして販売促進をしております。こういった動きが盛んになっていくように事務局もバックアップ、フォローアップをしていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
橋本委員	<p>すごくいいと思っておりますが、一方で、村内のスナックのフレンドなくなりましたよね。元々地元にあって観光資源でもなんでもないかもしれませんが住んでいる方には非常に大切な場所であったと思っております。なくなるという話を聞いてかなりショックを受けております。このような事業では新しいものをつくっていくというもので、元々あったものをサポートすることは非常に難しいとは思いますが財政的支援ではなく情報告知などでサポートしていただける仕組みなど、新しいものづくりと同時に元々あるものを応援していくことも考えていってほしいなと思っております。</p>
事務局 (室長)	<p>最近閉店になり、様々なご事情もあろうかとは思いますが、それに限らず地域の資源につきまして再発見をするということは非常に重要なことだと思います。現在、めんこいテレビさんも様々な資源を探しております。私も普代にずっと住んでおりますが再発見につながることも多いなと感じております。そのようなところを大事にしながら取組んでまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 その他、ございませんでしょうか。 はい、下道委員さん。</p>
下道茂子委員	<p>普代ではすき昆布を特産品としている面から前から思っていたことですが、</p>

	<p>普代には「ご当地キャラ」がありますので、すき昆布のパッケージなどに是非キャラクターなどを使用して販売するのもおもしろいのではないかと思います。</p>
事務局 (室長)	<p>パッケージ等へのキャラクターの活用でございますが、まさにそのとおりで思っておりました。村の方でもいろんな場面で、また、看板等設置の際にも活用をさせていただいております。商品のパッケージにつきましては、事業者さんの中でどれぐらい在庫があるのかなど様々問題もあろうかと思っております。こちらの方でも例えばシールなどの作成配布で普代村の PR につながるのであれば事業化の検討もしてまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>ご質問等がなければ、取り組みの検証に入りたいと思っておりますが、ご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等無いようではありますが、本事業の KPI の商品化件数、新規取引件数の目標値も達成されておりますことから、KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。ありがとうございました。</p> <p>次に、内部評価に対する外部からの評価ですが、内部評価では、「要改善」という評価でありますし、KPI も達成しておりますし、今後の取り組み内容に掲げる改善を図っていくということですので、「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということですので、内部評価に対する評価は、「適当である」といたします。ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>2つ目、「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」でございます。本事業は、新卒者、移住者の雇用拡大と地元定着を図ることを目的として雇用した事業主に対し奨励金を交付する事業でございます。取り組みの状況ですが、普代漁協さん1名、普代福祉会さん2名の雇用に対し奨励金を交付したところでございます。取り組みの検証・内部評価ということで、KPI は制度活用の事業者ニーズもあり目標値の2名を上回る実績となっております。継続的な実施により若者の地元企業等への定着と地域経済の安定化が期待できるという分析をしております。取り組みの課題としては、制度活用の促進として特にも村内企業等へ周知を図ることが必要と考えております。内部評価結果は「現状維持(計画通り)」としております。今後の取り組みとしましては、村のホームページやチラシ、起業訪問等を積極的に行い制度活用を促進していきたいと考えております。</p> <p>以上が「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実</p>

	施をお願いいたします。
会長	<p>「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、立花委員さん。</p>
立花委員	<p>村の取組での、1事業者あたりの助成額がかなり高額となっている部分が一つ印象に残りました。今やっている施策は、若年者の雇用にどうつなげていくかというところだと思いますが、雇用主のみならず雇用者への助成制度も検討してみたいかと思いますが、高卒者若年層の離職率が4割を超えていることが現状にあり、そのような制度があることにより、若年者が長く勤めていく励みにもなるのではないかと思います。例えば、現行制度における事業主に対する奨励金を半分にし、残りの半分を例えば半年勤続、1年勤続、3年勤続により若年層労働者側に勤続奨励金として助成する制度、また、移住者も対象にしていることから、村外向けの制度リーフレットを作成し各高校にPRすることで、先生あるいは三者面談などの際に一つの材料となるものだと思いますのでご検討方お願いします。</p>
事務局 (室長)	<p>こちらの事業でございますが、担当課が農林商工課となっております。只今いただきましたご提言につきましては繋げていきたいと思っております。私の知る限りで、この事業の内容について若干説明させていただきますが、平成26年度まで同様の事業があり、ただ、月額の奨励金額が3万円程度であったと認識しております。平成27年度から5万円に増額し現行制度に至っております。また、村では「ふるさと定住促進助成事業」という制度もありまして、定住するための住宅家賃の一部を助成する制度となっております。直接、本人へ金銭が支給されるような制度ではありませんが、環境からの改善、生活支援制度なども併せて一体的にPRし若者の地元定着に取り組んでまいります。まず、ご提言いただきました内容につきましては担当課へおつなぎしてまいりたいと思っております。</p>
会長	<p>ご質問等がなければ、取り組みの検証に入りたいと思っておりますが、ご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等無いようではありますが、本事業のKPIの新規雇用者数については目標値も達成されております、ただ、移住者関係の目標値は達成されておられませんけども、全体的に見れば概ね達成している状況となっておりますのでKPIに対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、本事業のKPIに対する事業の効果は、「有効であった」といたします。ありがとうございました。</p> <p>次に、内部評価に対する外部評価でございますが、内部評価では、「現状維持(計画通り)」という評価であります、KPIも達成しておりますし、今後の取り組み内容に掲げる改善を図っていくということですので、「適当である」とい</p>

	<p>うことでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということですので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>3つ目、「普代村新規漁業者支援協議会補助金事業」でございます。本事業は、漁業後継者の担い手確保のため協議会を設立し、各種支援制度の検討・創設を行い新規漁業者の確保につなげていくという事業としております。協議会は本年3月28日に設立され、次年度以降に首都圏などでのフェア参加、支援制度の創設・支援を行う活動計画としております。取り組みの検証・内部評価ということで、KPIは組織の立ち上げにより今後の新規漁業者確保に資する支援制度の構築が期待され、後継者・担い手対策とUIJターン者等の雇用の確保、地場産業の活性化が図れるとの分析結果でございます。KPIに設定した新規漁業者相談件数は5名の目標に対し3名となっております。取り組みの課題としては、協議会で創設される制度活用の促進が課題と捉えております。内部評価結果といたしましては「現状維持(計画通り)」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、村のホームページやチラシ、漁業就業者フェア等において制度活用を促進してまいりたいと考えております。</p> <p>以上が「普代村新規漁業者支援協議会補助金事業」内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「普代村新規漁業者支援協議会補助金事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
事務局 (室長)	<p>今後の取り組みのところでございますが、参考までに今年度よりスタートいたしました、漁業就業者育成補助金については、漁家のお子さん等に対し初年度月額5万円、2年目月額3万円、また、まったく新規で漁業就業者となった方には初年度月額10万円、2年目月額7万円、3年目月額3万円というような制度でございます。28年度スタートしまして本制度を活用している方、現在5名～6名程度と聞いております。</p>
会長	<p>はい、追加で説明していただきましたが質問等ございませんでしょうか。</p> <p>はい、三船委員さん。</p>
三船委員	<p>KPIに設定している平成27年度相談件数3件の方が本制度を活用しているのでしょうか。</p>
事務局 (道下)	<p>27年度に相談された方、全ての方ではありませんが、本制度を活用して新規漁業者として活躍されている方もおられますし、元々漁業に従事していた若年層漁業者も地場産業の活性化ということで本制度を活用して漁業に従事しております。</p>

<p>会長</p>	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等ないようではありますが、本事業の KPI の新規相談件数 5 件に対し 3 名と目標値は達成されておられません。補足説明の中で現在、制度を活用する新規漁業者数は 5 名～6 名いらっしゃるような現状も踏まえて KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。</p> <p>次に、内部評価に対する外部の評価についてでございますが、内部評価では、「現状維持 (計画通り)」という評価であります。現状も踏まえれば「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということですので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>4 つ目、「はまゆり子ども園給食費支援事業」でございます。本事業は、子育て世代への経済的安定、子育てが可能な環境づくり、地域内消費による地域経済循環の促進を図ることを目的として事業実施しております。はまゆり子ども園給食費負担相当額を地域商品券により支援しております。3,188 千円の商品券を上半期延べ 416 人、上半期延べ 448 人に支給しております。取り組みの検証・内部評価ということで、KPI は子育て世帯転入数を掲げており、本制度のみならず雇用や生活環境面を一体的に情報提供することで KPI の達成につながっていくことが期待されるという分析結果としております。取り組みの課題は、UIJ ターン希望者等への周知、内部評価結果は「現状維持 (計画通り)」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、新たな子育て世帯への経済的安定に資する取り組みが構築されましたので、本事業と産業・雇用を一体的に推進していくことが必要であると考えております。</p> <p>以上が「はまゆり子ども園給食費支援事業」内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>「はまゆり子ども園給食費支援事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、三船委員さん。</p>
<p>三船委員</p>	<p>地域商品券の支給数ですが、上半期延べ 416 人、上半期延べ 448 人と伸びておりますが、これは、単純に新たな世帯数の効果で増加したものか、それとも他に要因があるものか。子育て世代の転入であれば喜ばしいことである。</p>
<p>事務局</p>	<p>数字に表れているように子育て世帯の転入により増加していることと考えて</p>

(道下)	おりますが、延べ34人増加の詳細内容について把握しておりませんので、改めて委員の皆様にご覧いただき、本点検シートに記載しお示ししたいと思います。
会長	ほかにご質問等ございませんか。 はい、大村委員さん。
大村委員	地域商品券の支給で援助する形で、直接、給食費を援助する形ではないですよ。
事務局 (道下)	一度、4月～9月、また、10月～3月までの給食費をお支払いいただきます。そのお支払いの実績に応じた地域商品券を保護者の方に交付するというもので、そのことによって地域商品券で地域の商店でお使いいただき、地域経済の好循環も目指すという内容であり、給食費免除というものではございません。
会長	ほかにご質問等ございませんか。 それではご質問等ないようでありますので、本事業のKPIの子育て世帯転入数1世帯に対し目標値1世帯として目標は達成されておりますので、KPIに対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。 (異議なし) それでは、本事業のKPIに対する事業の効果は、「有効であった」といたします。 次に、内部評価に対する外部の評価ですが、内部評価では、「現状維持(計画通り)」という評価であります。目標も達成しているということで、今後現状維持以上の効果も高めていきたいという内容でもありますので「適当である」ということでよろしいでしょうか。 (異議なし) 異議なしということでもありますので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。 それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。
事務局 (中村)	5つ目、「学官連携で推進する「おためしU愛Jターン」支援事業」でございます。本事業は、都市部の学生等の考え方を活用した、交流人口拡大施策、移住者の受入体制構築に向けた基盤整備と機会創出を図る取り組みのモデル検証事業として実施した事業でございます。追手門学院大学の学生等と村の移住定住施策を構築するための検証事業及び普代村自然体験学習施設のおためし移住施設化の基盤整備を実施したところでございます。取り組みの検証・内部評価ということで、移住希望者のための必要なハード面の施設整備が完了され、伝統文化や生業をセットとしたツアー造成によりKPI達成に至ったところであります。個人・団体問わず対応できる体験メニューなどソフト面の強化が必要であると内部分析しているところです。取り組みの課題としては、おためし移住体験のための交流体験メニュー及びプロモーション体制の構築が課題と考えております。内部評価結果は「現状維持(計画通り)」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、ソフト面を強化して、普段の暮ら

	<p>しを生かした単一的ではなく持続的に受入可能な体験メニューを一つずつ構築してまいりたいと考えております。</p> <p>以上が「学官連携で推進する「おためしU愛Jターン」支援事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「学官連携で推進する「おためしU愛Jターン」支援事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、橋本委員さん。</p>
橋本委員	<p>まず、取り組みのところで「追手門学院」の字が間違っておりますので訂正をお願いします。</p> <p>整備した自然体験学習施設には、私、拝見したことがなく、学生からすごく良いところだと聞いており是非一度見させてください。学生に魅力を持ってもらうときに、追手門学院大学地域創造学部の1年生に対するコース説明会があるのですが卒業後の進路などの話しの中で、一般的な話しのほかに、地域おこし協力隊の活動なども将来の進路を決定する入口になるという話しもしております。例えば卒業した際に地域おこし協力隊などとして普代村に行ってみようという学生も出てくれば良いなと思っております。学園祭などでの鶴鳥神楽披露やツアーの際のみではなく様々な場面で神楽を活用する事業展開があればソフト面の強化と魅力発信にもつながっていきますのでご検討いただければと思います。</p>
事務局 (道下)	<p>おためし移住体験は平成27年度より実施しておりまして、KPIにおけるおためし移住体験数10名に対し27名ということで倍以上のニーズがあったという状況でございます。受入側の方が、課題にもありますように、メニュー造成の中には、そういった伝統文化をコンテンツに取り入れた内容としていきたいと考えておりますし、生業の中に伝統文化を楽しむという内容でしっかりとしたメニューをつくっていききたいと思っております。ご提言いただきありがとうございます。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>はい、高屋敷委員さん。</p>
高屋敷委員	<p>平成27年度の実績値がありますが、おためし移住体験者の満足度や感想など把握しているのか、もし把握しているのであればどういった内容であったのが教えていただきたい。</p>
事務局 (中村)	<p>基本的におためし移住体験で訪れた方々からは、体験レポートを提出いただいております。その内容につきましては村のホームページにより公開させていただいております。また、今年度も先般、京都府の主婦の方で移住体験した方がおりまして、今週の土曜日にめんこいテレビさんの「青の国からふだいTV」の方で感想など取り上げさせていただいておりますので是非ご視聴いただければ</p>

	<p>と思います。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等ないようでありますので、本事業の KPI の目標値を上回る状況、ハード面の整備、ツアー造成の実施などされておりますので、KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。</p> <p>次に、内部評価に対する外部の評価ですが、内部評価では、「現状維持(計画通り)」という評価であります。今後はソフト面の強化充実に取り組んでいくという内容もございますので「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということでもありますので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>6つ目、「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業」でございます。本事業は、村の資源を生かし続けるために今後予定する首都圏等対象ツアー造成事業に結び付ける手法の一つとして「普代村を応援したい方」を集客登録をして日常的な村の魅力を発信し永続的な人の流れのネットワーク構築に結び付けることを目的として実施した事業であります。ファン会員の方を集客登録し、パスポートや特産品の発送を行うとともに定期的にファンクラブ通信を発行しております。KPI の達成状況に関する分析ですが、プロモーションの手法及び周知方法に時間を要し KPI の達成には至っていない状況ですが、行政のみならず村民だれもが勧誘できる体制を図ること、また周知機会の構築が必要であると内部分析しているところであります。取り組みの課題としては、村民だれもが率先して会員勧誘できる村民への周知徹底が必要なこと。内部評価結果は「要改善」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、継続実施していくことで会員数の増加は見込めることが予想されることから、村民一人一人がファン会員を募っていける仕組みの構築のため村内での周知を図っていくよう取り組みたいと考えております。</p> <p>以上が「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、滝沢委員さん。</p>
滝沢委員	<p>ファン会員になることによって会員特典というものはあるのでしょうか。こ</p>

	のシートの内容では見えてこないのですが。
事務局 (道下)	制度の内容が見えていない資料となっております。大変申し訳ございません。対象は村外の方で、会員になるためには登録料をいただきます。5年間有効のパスポートを発行いたします。1万円の登録料で決して安い登録料ではございません。しかし、普代村特産品を登録料相当額分お贈りいたしますし、5年間有効のパスポートを発行いたします。パスポートを持参し来村された際には、村内の商店、飲食店でのサービスも用意しております。そして、ファンクラブ通信を年4回発行し村の広報とは違った視点での村の魅力の情報発信をしております。
橋本委員	平成27年度実績値では会員登録者数38人ですが、現在は何名程度になっておりますか。
事務局 (道下)	11月現在では、80名程度に増加しております。
滝沢委員	ファン会員を増やすため、どのような内容の活動を展開しておられますか。
事務局 (中村)	現在のプロモーションの手法としては、首都圏などでの催しの際はリーフレットを配布するという内容になっている。今後のプロモーションの展開としてはもう少し検討の余地はあるものと考えております。
事務局 (道下)	ファン会員を増やすため、庁内でも職員ががんばっております。本村、出身者の親族などにも声をかけ「是非会員になってくれ」と、また、村外にいる親族もお知り合いの方々にも情報発信をお願いし、少しずつではありますが会員が増加している状況にありますので、是非、支店長さんも入会いただければと思います。
下道茂子委員	村出身者の方をターゲットにしているのですか。
事務局 (道下)	プロモーションの仕方としては、ターゲットにさせていただいたところは、ふるさと普代会会員の方々、広報紙を送付しているの方々、あとは村のホームページなどで情報発信しておりますが、そちらの方々をアンテナとして拡散していくような方法をとっております。
橋上委員	会員登録者数100人の目標が80名程度になったということで、良い取り組みでありますので今後も伸びると期待しております。現在、各市町村でふるさと納税に取り組んでおります。その方々は普代のファン会員の潜在的要素のある方々だと思いますので、ふるさと納税も生かしたファン会員斡旋の取り組みも検討していただきたいと思います。
事務局 (道下)	ふるさと納税をいただいた方々には、御礼のお手紙も送付しております。その中には橋上委員さんご提言のとおり現在も御礼のお手紙にファンクラブ会員の入会チラシも同封させていただいております。
下道茂子委員	今、もし入会チラシ、リーフレット等あればいただきたい。私も関係者が首都圏におりますので周知させていただきます。
事務局	ただいま用意し、全員に配布させていただきます。

(道下)	
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>はい、橋本委員さん。</p>
橋本委員	<p>直接関係はないのですが、鶴鳥神楽が国指定になったとき後援会をつくるべきだと提言をしまりました。早池峰神楽も黒森神楽も後援会を持っており、岩手県の神楽の特徴的な部分であると考えています。教育委員会が扱うのとはちょっと違ってファンクラブ会員登録事業です。鶴鳥神楽には後援会はまだできておりませんが何とかならないかなと考えておりましたが、本事業内容を拝見しているとある意味、広げ方として後援会とファンクラブは非常に平行する部分あるのかなと思います。後援会をこの事業の中に組み込んでくれというものではありませんが、何か同時に検討いただければと思います。</p>
事務局 (道下)	<p>本事業の会員登録制度システムの転用ということは可能であると考えております。是非、ファンクラブを後援会の方でつくる際には協力していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等ないようでありますので、本事業の KPI は目標値 100 人を下回る 38 人と非常にさみしい実績値となっておりますが、本年度の状況では 80 人と増加もしており入会促進に努めている状況にもありますので、KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。</p> <p>次に、内部評価に対する外部の評価でございますが、内部評価では、「要改善」という評価であります。実績等にも鑑み今後の取り組みを促進していくことが妥当であると考えられますので内部評価については要改善が「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということですので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>7つ目、「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」でございます。本事業は、地域資源を活用し滞在型観光と広域連携観光に結び付けるため、一方で遅れている資源のブラッシュアップや魅力発信のため新たに村内周遊観光バス路線を新たに造成・運行を試験的に事業実施したものであります。観光シーズンの5月から10月の日曜・祝日、全34日間、2路線を運行したところであります。また、バス停留所等々の改修も実施したところであります。KPIの達成状況に関する分析であります。試験運行として実施しておりますがKPIの達成には至っていない状況であり、利用者ニーズに合わせた運行方法の検討が必要であると内部</p>

	<p>分析しているところであります。取り組みの課題としては、利用者ニーズの把握が重要であること。内部評価結果は「要改善」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、よりきめ細やかに利用者ニーズを把握し、利用者の輸送のみならず利用促進にもつながる特色ある運行方法を検証・構築していきたいと考えております。</p> <p>以上が「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、小野寺委員さん。</p>
小野寺委員	<p>一昨年、「海フェスタ IN ふだい」イベントの際、三陸鉄道で普代駅に降り、当時は日曜日でしたが村営バスで太田名部に行こうと思ったら土日が運休でありました。村営バスが休みだったこと、また、シャトルバスが運行していたことを知らず、村外の人間からするとそういった事情がまったくわからず、結局歩いていたら関係者の方が乗せてくれたという経緯がございました。そのような経緯からこのような事業があるのは村外の者からすると非常に歓迎すべき事業でもあると考えております。</p>
事務局 (中村)	<p>平成 28 年度につきましては、土曜・日曜・祝日の通年として運行をさせていただいております。運行の形態については、まだまだ模索している状況というところが正直なところです。例えば村内のイベントなどにもマッチングや対応が可能となるよう、臨機応変な運行ができるような仕組みづくりに取り組んでいかなければならないものと考えておりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等ないようでありますので、本事業の KPI は目標値 1020 人を下回る 266 人の実績値となっておりますが、少ないながらも観光利用の足として利用される観光客はいる状況ですので、KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、今後の課題はたくさんあると思います、また KPI の達成はしておりませんが事業としての効果は十分にあったと考えられますので、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。</p> <p>次に、内部評価に対する外部の評価でございますが、KPI の実績値も低い状況で内部評価でも、「要改善」という評価であります。実績値等にも鑑み今後の取り組みを促進していくことが妥当であると考えられますので内部評価については要改善が「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

	<p>異議なしということですので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より次の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>8つ目、「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」でございます。本事業は、地域資源発掘周遊観光バス運行事業による試験運行実証結果を踏まえてバスの購入等を行った事業であります。バス整備事業のみならずバスのラッピング及び車載映像機器の整備、バス停標識の改修、観光地の多言語化看板の整備を実施いたしました。KPIの達成状況に関する分析であります。次年度に向けた整備事業として実施された事業ではあります。既存のバス停表示改修や多言語化看板整備の効果にもより目標の観光入込客数は目標値 63,294 人を上回る 65,801 人につながったものと考えております。取り組みの課題としては、増加傾向にある観光客の更なる誘客促進及び利便性向上が必要であること。内部評価結果は「現状維持（計画通り）」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、平成 27 年度に観光客向けのバス整備が完了したことから、観光客ニーズを把握した中でより利便性の高まる運行形態の構築を図ってまいりたいと考えております。また、平成 29 年度には、もう 1 台の周遊観光バスも更新をする予定としておりますので、本整備事業同様の形態で整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>以上が「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>それでは、私から質問をさせていただきます。</p>
会長 (佐々木委員)	<p>今後の取り組みに関する平成 29 年度の整備方針で、更新ということですが既存村営バス車両を周遊観光バスとして更新整備するという事で村営バスと周遊観光バスを併用して運行していくということでしょうか。</p>
事務局 (中村)	<p>はい、ご質問のとおり平成 29 年度の整備方針としては、村営バス車両 1 台を村営バス兼周遊観光バス車両として併用で運行していけるよう整備するものです。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>はい、下道茂子委員さん。</p>
下道茂子委員	<p>観光客入込客数とは、三鉄普代駅の乗降客数等の数値でしょうか。</p>
事務局 (道下)	<p>平成 27 年度の観光客入込客数実績値 65,801 人の数字でございますが、岩手県観光統計として村の観光客調査ポイントは黒崎の 1 点としておまして、三陸鉄道の乗降客数はカウントされておられません。おそらく三鉄の普代駅利用者は 2 万人～3 万人、多いときでは 4 万人となりますのでそれらを含めると本</p>

	<p>村には 10 万人程度の観光客等が来ているものと考えております。</p>
会長	<p>ほかにご質問等ございませんか。</p> <p>それではご質問等ないようでありますので、本事業の KPI は目標値 63,294 人を上回る 65,801 人の実績値となっておりますので、KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、意義なしということで、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。</p> <p>次に、内部評価に対する外部の評価でございますが、「現状維持 (計画通り)」という評価であります。観光客数も増加している現状からも内部評価については「適当である」ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということでありますので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>それでは、事務局より最後の事業の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>最後、9 つ目、「宿泊施設 WiFi 環境構築事業」でございます。本事業は、観光客ニーズに適切に対応していくために国民宿舎くろさき荘の利用者や宿泊者が利用可能な WiFi 環境の整備を行った事業であります。KPI の達成状況に関する分析であります。年度末での事業完了 (運用) となったことから、宿泊者数 11,762 人の目標値達成には至っておりません。今後、整備した環境を活かしたインバウンド観光も視野に入れた新たな誘客促進に向けた営業活動の展開を目指すと考えております。取り組みの課題としては、観光客ニーズの把握とターゲットを絞った整備方針や営業活動の展開を課題として考えております。内部評価結果は「現状維持 (計画通り)」として進めていきたいと考えております。今後の取り組みとしましては、観光客ニーズを把握し、村としての観光ビジョンを明確化し中長期の戦略に基づいた運営を展開してまいりたいと考えております。</p> <p>以上が「宿泊施設 WiFi 環境構築事業」の内部での取り組みの検証、内部評価の結果となります。委員の皆様方からの取り組みの検証・外部評価の実施をお願いいたします。</p>
会長	<p>「宿泊施設 WiFi 環境構築事業」について、取り組み状況と内部評価を説明いただきました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、三船委員さん。</p>
三船委員	<p>年度末での事業完了となったことから宿泊者数の目標達成に至らなかったという内部での検証結果ですが、事業効果は当然に平成 27 年度には表れないということでしょうか平成 28 年度の宿泊者数の状況はどのようになっているのか把握していれば教えてください。</p>

事務局 (道下)	平成 28 年度の国民宿舎くろさき荘の宿泊者数の状況ですが、昨年度 8,822 人、今年度の見込みでございますが、恐らく、昨年度実績までいけばいいなというように状況でございます。ただ、これまで平成 23 年度から震災関連の事業者さんが 6 割から 7 割程度の利用率となっております。これから当然にその利用率は落ちていくわけでございますので、一般の観光客の方にシフトするためにも今回、WIFI 環境を構築したというところでもございます。
会長	ほかにご意見等ございましたら、お願いいたします。 はい、下道茂子委員さん。
下道茂子委員	WIFI も当然に必要なものとは思いますが、私自身が身障者ですので、国民宿舎くろさき荘については、身障者にもやさしい施設となるよう整備を進めていただきたいと思います。
事務局 (道下)	くろさき荘の建物でございますが、新しい建物の方でもエレベーターや身障者用の設備がございません。最近、食堂棟の方を新築したわけですが、できるだけフロア内のフラット化をしております、エレベーターの設置に関しましても設備業者さんとどこにどう設置するかなどの現地調査まではしておりますが、具体的な整備には至っていないという状況でございます。 しかし、今後、そういったニーズが増えていくであろうというのももちろんでありますので、さらなる検討、そういった方向性をだしていきたいと思っております。
立花委員	ただいま障害者の話しがでましたけども、ご存知のとおり障害者差別解消法が本年 4 月 1 日に施行され合理的配慮の提供が国、地方公共団体の法的義務とされ、障害者に対する設備、これはできるだけではなく必須として整備しなければならないものと感じておりますので、障害者が過ごしやすい、住みやすい、そういったまちづくりを是非お願いいたします。
事務局 (道下)	申し訳ございません、不勉強な点ございました。よく、そちらの方も勉強ささていただきながら、今後の整備方針等に含めて「検討しなければならないもの」として考えさせていただきます。
会長	ほかにご質問等ございませんか。 それではご質問等ないようでありますので、本事業の KPI は宿泊者数として目標値 11,762 に対し 8,822 人の実績値となっておりますが、環境整備により今後の取り組みの展開としては宿泊者の増加につながっていくものと思っておりますので KPI に対する事業の効果は「有効であった」としてよろしいでしょうか。 (異議なし) それでは、意義なしということで、本事業の KPI に対する事業の効果は、「有効であった」といたします。 次に、内部評価に対する外部の評価でございますが、「現状維持 (計画通り)」という評価ではありますが、今後も整備環境を活用しながら誘客のための運営展開をしていくということですので、内部評価については「適当である」という

	<p>ことでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということですので、内部評価に対する評価も、「適当である」といたします。</p> <p>以上で、全9事業の効果検証が終わりました。</p> <p>ここまでで、各委員の民さまからお気づきの点、質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>無いようであれば、次の協議事項、(2)の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成28年度事業の進捗状況について議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>それでは、協議事項(2)の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成28年度事業の進捗状況について説明というか報告をさせていただきます。</p> <p>資料4、こちらが総合戦略のアクションプランとなっております、左側が計画、右側が10月末現在の実績見込となっております。事業については、アクションプランに基づき計画通り進捗している状況にありますので、改めてのお目直しをお願いいたします。最後の3ページ目をご覧くださいと思います。下の部分になりますが、計画にない部分で、地方創生関連事業として、観光まちづくり会社の形成・確立事業というものがございます。こちらは、平成29年3月末の観光まちづくり会社設立に向け取り組んでいるところでございまして、午後からの第1回まちづくり研究会においても、事業検討等行うこととしております。</p> <p>資料5、こちらが重要業績評価指標(KPI)の10月末現在の進捗状況でございます。2年目に入っており、「1. 地域における安定した雇用を創出する」では、施策推進による新規雇用者数5年間で概ね50人の目標値に対し11人、また、「2. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では、出生数5年間で120人の目標値に対し9人、婚姻数5年間で60組の目標値に対し11組など、懸念される目標値など多々ございます。今後、これらの目標達成に向け、先程委員さんから様々な貴重なご意見、ご提言もいただいておりますので、それらを踏まえた施策推進のための事業立案等を行ってまいりますので引き続きのご協力をお願いいたします。</p> <p>以上、簡単ですが普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る平成28年度事業の進捗状況についてのご報告となります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局より平成28年度事業の進捗状況について報告・説明がありました。</p> <p>何か質問等はございませんでしょうか。</p> <p>もし何か、お気づきの点等ありましたら事務局の方へお話しをしていただきますようお願いいたします。</p>

	<p>ご質問等ないようでございますので、次第の4、その他に移ります。 事務局に進行をお返しいたします。 ありがとうございました。</p>
事務局 (道下)	<p>会長さん、ありがとうございました。 本日いただきました、ご意見、そして評価については取りまとめのうえ、委員の皆様へ、改めてご報告させていただきます。 改善施策・事業等については、対策本部で協議検討のうえ、次年度事業・予算へ反映していくよう取り組んでまいりますので、今後とも村の地方創生について、ご尽力を賜りますようお願いをさせていただきます。 それでは、次第4のその他でございますが、事務局（中村）から午後からの会議内容等についてお知らせいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>午後1時30分から午後5時終了予定として、同会場で第1回普代村まちづくり研究会を開催いたします。出席予定となっております委員の皆様におかれましては引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (道下)	<p>協議事項（2）の部分について、かなり省略した点もございます。ご不明な点等ありましたら後程でも結構ですので事務局の方にご連絡をいただければと思います。 それでは、以上を持ちまして、第5回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を終了させていただきます。午後からの会議も引き続きよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>